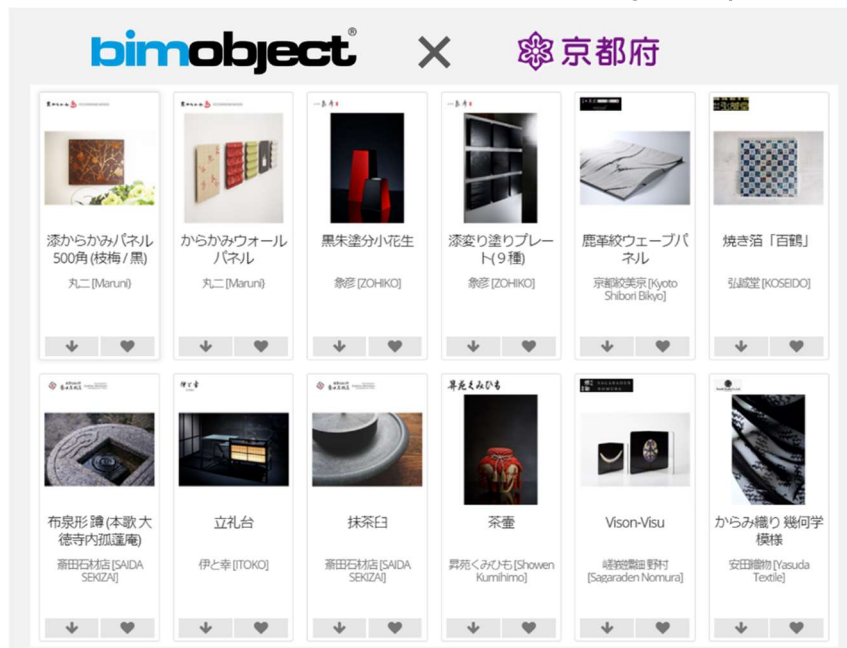


日本文化と手技を伝える新手法で世界 200 万人に同時発信
京都の伝統工芸品が BIM コンテンツプラットフォームに初登場
 ～地域活性化に向け、京都府・地域伝統産業と BIMobject Japan が連携～



BIMobject Japan 株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：東 政宏)は、BIM[®]を使って日本の優れたモノ・コトを世界に届ける新たな取組みの一つとして、京都府が誇る伝統工芸品(9社、12製品)を2020年10月12日にBIMコンテンツプラットフォーム「BIMobject[®] Cloud」に掲載しました。掲載品は、茶道具、漆細工、織物など空間に独特の情緒を醸し出す逸品ばかりです。(別紙1を参照)

「BIMobject[®] Cloud」は約200万人の建築・内装関係者が閲覧する世界最大規模のプラットフォームで、今回は世界244カ国に伝統工芸品の良さを知らせていただく機会となり、海外の住宅・ホテル・商業施設などでインテリアとして採用される可能性が広がります。伝統産業は高齢の職人も多く、年々市場規模が縮小していますⁱⁱ。私たちは、職人やメーカー・工房・窯業の皆さまの「ものづくり」へのこだわりや歴史、創意工夫、製品の精緻さ・美しさといった伝統文化の知恵や素晴らしさを、「BIMobject[®] Cloud」を通じて世界に届け、伝統産業の発展に貢献したいと考えています。

▼伝統工芸品の一覧掲載ページ URL

<https://www.bimobject.com/ja/product?brand=saidasekizai&brand=kyoto-shibori&brand=sagaraden&brand=yasudatex&brand=zohiko&brand=maruni&brand=itoko&brand=showen&brand=koseido>

伝統工芸品×「BIMobject[®] Cloud」 | 世界 200 万人の空間デザイナーに日本の伝統を！

「BIMobject[®] Cloud」は、インテリアからエクステリアまで、空間に関連するあらゆるモノの情報とデータを配信先に適した形で発信・提供する仕組みです。今、世界では日本レストラン数が増加傾向ⁱⁱⁱにあり、和風の空間デザインが注目されています。「BIMobject[®] Cloud」では、世界200万人超の空間デザイナーに向けて、日本の伝統的価値やデザインを最適な形で届けます。日本の伝統工芸品が、世界各地の実空間を彩る機会にもつながります。

私たちは、Microsoft Project Users Forum (<http://www.mpuf.org>) が主催する伝統産業イノベーション

ンプロジェクトにて、日本の伝統産業、伝統芸能が持つ価値を社会の新しい価値として再編し、社会実現するための仕組みづくりに携わっています。このプロジェクトでは、ユネスコ世界遺産である能楽・日本庭園（銀閣寺）・和食（日本茶）等の伝統技術とロボットやAIの一体化の取組みを行ってきました。

京都府は2017年度から京都デジタルミュージアムの構築を推進しており、デジタルをうまく取り入れながら地域の魅力を伝える取組みをされています。今回、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で世界の文化に直接触れる機会が激減するなか、京都府が世界に誇る伝統工芸品の魅力を最先端技術との融合によって世界に届けようと考えました。

<京都府染織・工芸課からのコメント>

“京都府の伝統工芸品は品目・企業数・従事者数、すべてにおいて全国一です。新型コロナウイルス感染症の影響で、展示会の開催取りやめやインバウンド客の激減が続く現況において、全世界に200万人の登録会員を抱える「BIMObject® Cloud」で、“製品をデジタルデータ化して世界中の空間デザイナーにダイレクトに訴求できる”というのは、私たちにとって、京都の魅力を発信する新たなアプローチ手法です。

今回、そういった目的から、掲載データもBIMデータ、三次元データに限らず、工芸品の画像や製品情報、販売サイトや映像へのリンクを掲載していただいています。また、製品概要には、日本文化や京都との関連が分かる記述も加えています。

今までとは違った顧客層に京都を知っていただくきっかけとなって、伝統工芸品の新たなステージづくりや、広報・販路拡大事業とのシナジー効果を期待しています。”

▶個別の掲載ページ例

株式会社 伊と幸の立礼台は、The wonder500(日本各地の地方産品を海外にPRする、経済産業省のプロジェクト)にも選定。製品概要には茶道の説明もあり、日本文化を知るきっかけにも。

立礼台



Unique ref.:	Silk_Art_Tea_Table
ブランド名:	伊と幸 [ITOKO]
製品ファミリー:	Table/テーブル
製品グループ:	Tea Table立礼台
幅 (mm):	1200
高さ (mm):	322
奥行 (mm):	478
公開日:	2020-10-12
改訂バージョン:	1
タイプ:	オブジェクト (1つのオブジェクト)

ダウンロード (2)

製品概要	製品仕様	リンク	関連	識別情報	対応地域
------	------	-----	----	------	------

立礼(りゅうらい)とは椅子式の茶道点前のごとで、この時使用する道具を立礼棚(立礼卓もしくは立礼台)といいます。立礼式では、客人も椅子に腰を掛けて茶を頂くという略式ではありますが、日本文化の集約である茶道を海外のお客様に「おもてなし」する最適で簡易なティーテーブルです。

BIMObject Japan 株式会社について

建材商社である野原ホールディングスと、BIMコンテンツプラットフォーム「BIMObject® Cloud」を世界的規模で展開するBIMObjectAB (Malmo Sweden) が2017年12月27日付で設立した、BIMの国内向けサービス会社です。

BIMObject Japanが運営する「BIMObject® Cloud」は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品のBIMコンテンツ(製品のデジタルデータ)を始めとするあらゆる情報/データを掲載する世界最大のプラットフォームです。メーカーにとっては自社製品をグローバルに発信する場になっています。様々なサイトやソリューションとも幅広く連携できるだけでなく、全てを一括管理できる高機能なデータ管理システムとしての側面も持っています。設計者にとってはメーカー監修のオブジェクトデータを無料で入手できる場となっています。

▼BIMコンテンツプラットフォーム「BIMObject® Cloud」

<https://www.bimobject.com/ja/product>

bimobject®

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、建設業界を中心に建材や鉄鋼関連、セメントなどの資材販売、道路交通標識などの販売・施工を通して事業を拡大してまいりました。

私たちは、2020年8月より掲げる新ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまでの知見をさらに磨き未来へつなげて、より一層社会に貢献して参ります。<https://nohara-inc.co.jp>



【BIMObject® Cloud に関するお客さまからの問合せ先】

BIMObject Japan 株式会社 （担当：原田）
TEL：03-6328-4548 / e-mail：japan@bimobject.com

【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
社長室(担当：齋藤、青木)
e-mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱBIM 関連の用語は、別紙 3 にまとめています。

ⁱⁱ伝統産業の現状は、経済産業省 HP を参照（https://www.meti.go.jp/committee/summary/0002466/006_06_00.pdf）

ⁱⁱⁱ世界における日本レストランの数は、農林水産省 HP を参照
（<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/service/attach/pdf/191213-1.pdf>）